

第一貨物 運転技能競技大会開く 事故ゼロへ意識向上図る

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)は7月21、22の両日、山形県天童市の中央研修所で「運転技能競技大会」を開いた。全国6支社の10チーム40人と関係会社9社から9人がオブザーバー参加した。従来は1チーム3人の出場だったが、よき安全意識の高揚を図るため、今回から4人とした。

プロドライバーとしての社会的責任を深く自覚し、法令順守と安全意識の高揚を図るとともに事故の絶無を期すのが目的で、今回で54回目。22日の開会式で武藤社長が「3か年で事故を半減させる。『事故を絶対に起こさない』という決意、自覚が必要。運転は外での一人

仕事でだれも指示はしてくれない。諸君が先頭に立って事故ゼロに努力して欲しい」と挨拶。

山形運輸支局の松田憲幸



支局長らの祝辞に続き、出場選手を代表して、菊地明選手(大阪支社)が選手宣誓した。

競技はトラックとフォークリフトの2部門で実施。トラックは大型、4トン、2トンに分かれ、学科と運転実技、日常点検で競った。学科は21日に、実技は22日にそれぞれ行われた。

日常点検競技に取り組み選手ら

フォークリフトは1チームから1人が出場し、22日に運転実技のみ行った。

その結果、団体は山形Aチームが優勝。準優勝は仙台Aチーム、3位には名古屋チームが入った。

個人の部では、大型が菅原航選手(仙台A)、4トンが鈴木洋平選手(同)、2トンは小松頌選手(山形A)がそれぞれ優勝。

フォークリフトは山田賢選手(名古屋)が1位に輝いた。また、関係会社では、大型で堀田清弘(東北第一物流)、佐藤広光(福

島第一物流)の両選手、4トンは植村太祐(新潟第一梱包運輸)、安永定之(大阪第一物流)の両選手に奨励賞が贈られた。

(黒田 秀男)